

開講年度	2024		
開講学期	前期		
科目名	グランドハンドリング		
担当教員	実務経験教員（グランドハンドリングスタッフ）		
必修選択	必修		
授業時数	112	授業方法	講義・演習
対象学年	エアポート学科 1学年・2学年		
到達目標	航空機運航システムを下支えするグランドハンドリングの専門知識の習得及び空港内車輛運行規則について理解させる。		
授業計画	①グランドハンドリングの概要 ②ランプ・イン/アウト(誘導作業) ③搭載・取り出し関連業務各種業務 ④航空機地上支援機材など ⑤客室サービス作業		
テキスト	航空機のグランドハンドリング教本及び教員の作成したプリント		
試験／成績 評価方法	①学期末の定期試験 ②学科目ごとに100点満点とし、60点以上を合格とする。 ③出席率 ④授業態度 ⑤追試や指定期日までのレポート作成により単位の回復を認める。		
その他	出席率70%以上		

開講年度	2024		
開講学期	前期		
科目名	車輛実習		
担当教員	実務経験教員（グランドハンドリングスタッフ）		
必修選択	必修		
授業時数	480	授業方法	実習
対象学年	エアポート学科 1学年・2学年		
到達目標	空港に配備されている車輛機(器)材を使用して、航空機の発着に係わる各種地上支援業務の実習で技能の習得とチームワークによる安全管理など基本知識、基本技能を習得する。		
授業計画	<ul style="list-style-type: none"> ①実習場使用細則説明、配備機(器)材の説明など ②指差呼称による服装点検 ③TT車輛運航前点検(運航前点検表に基づく) ④TT車輛慣熟訓練(走行操作、動作、後退、車庫入れ、器材連結など) ⑤車両誘導方法 ⑥フォークリフト取扱い ⑦パレットタイズ(荷役業務、重量分散、タイダウンなど) ⑧コンテナドーリーのHLBへの寄り付け手順、誘導 ⑨パレットドーリー後退訓練 ⑩搭降載(HLB操作、ULD) ⑪マーシャリング(パドル使用による合図、翼端監視方法) ⑫プッシュバック手順 ⑬各種業務の手順(走行動作、操作、誘導、連絡等)のフォローアップ 		
テキスト	教育シラバスに基づき実施		
試験／成績 評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ①学期末の定期試験 ②試験項目に準じ100点満点とし、60点以上を合格とする。 ③出席率 		
その他	出席率70%以上		

開講年度	2024		
開講学期	前期		
科目名	安全・品質		
担当教員	実務経験教員（グランドハンドリングスタッフ）		
必修選択	必修		
授業時数	112	授業方法	講義・演習
対象学年	エアポート学科 1学年・2学年		
到達目標	一般的な考え方、空港内における業務上の各種事例に基づく職場の安全、品質管理について幅広く習得する。		
授業計画	①安全の必要性(原因、損失、防止措置など) ②安全衛生の考え方 ③心の健康 ④品質の基本事項 ⑤グラハンの品質向上(5Sの基本)		
テキスト	安全・品質教本及び教員の作成したプリント		
試験／成績 評価方法	①学期末の定期試験 ②学科目ごとに100点満点とし、60点以上を合格とする。 ③出席率 ④授業態度 ⑤追試や指定期日までのレポート作成により単位の回復を認める。		
その他	出席率70%以上		

開講年度	2024		
開講学期	前期		
科目名	航空関連用語		
必修選択	必修		
授業時数	28	授業方法	演習・講義
対象学年	エアポート学科 1学年		
到達目標	空港や航空業界で使われている用語や2レター、3レターコードについて習得する。		
授業計画	①航空関連用語集 ②エアラインコード ③空港コード		
テキスト	航空関連用語集及び教員の作成したプリント		
試験／成績 評価方法	①学期末の定期試験 ②学科目ごとに100点満点とし、60点以上を合格とする。 ③出席率 ④授業態度 ⑤追試や指定期日までのレポート作成により単位の回復を認める。		
その他	出席率70%以上		

開講年度	2024		
開講学期	前期		
科目名	航空危険物		
必修選択	必修		
授業時数	28	授業方法	講義・演習
対象学年	エアポート学科 2学年		
到達目標	危険物の航空輸送に関する法規及びラベル、種類など取扱いに習得する。		
授業計画	①定義及び航空輸送上の規則 ②危険物の航空輸送に関する航空法関係規則 ③航空法の構成 ④危険物航空輸送までの流れ ⑤危険物の分類名 ⑥マーキング・ラベリング ⑦ラベルの大分類 ⑧危険物貨物の取り扱い時の共通項目 ⑨移動、蔵置時の取扱い ⑩ビルドアップ、搭載時の取扱い		
テキスト	危険物教本および教員が作成したプリント		
試験／成績 評価方法	①学期末の定期試験 ②学科目ごとに100点満点とし、60点以上を合格とする。 ③出席率 ④授業態度 ⑤追試や指定期日までのレポート作成により単位の回復を認める。		
その他	出席率70%以上		

開講年度	2024		
開講学期	後期		
科目名	IT基礎		
必修選択	必修		
授業時数	112	授業方法	演習・講義
対象学年	エアポート学科 1学年・2学年		
到達目標	ワード、エクセル基本技能の習得		
授業計画	<p>○ワード パソコンの使用方法（ログインの仕方、キーボードの入力方法） 課題プリントにより社内・社外文書の作成 文書の定型の説明 ワープロ独特の倍角文字、半角文字の説明と作成 罫線の作成、図形による簡単地図の作成 ワード独自の各種機能の演習</p> <p>○エクセル テキストを使用してエクセルの基本操作 数式を使用して計算する 関数を使用して合計、平均、最大、最小、個数を求める 相対参照と絶対参照、別のデータを参照する グラフの作成、データの並べ替え</p>		
テキスト	ワード 課題プリント エクセル よくわかるExcel基礎と課題プリント		
試験／成績 評価方法	①学期末の定期試験 ②学科目ごとに100点満点とし、60点以上を合格とする。 ③出席率 ④授業態度 ⑤追試や指定期日までのレポート作成により単位の回復を認める。		
その他	出席率70%以上		

開講年度	2024		
開講学期	前期		
科目名	危険物試験対策		
必修選択	必修		
授業時数	56	授業方法	講義・演習
対象学年	エアポート学科 1学年		
到達目標	危険物乙種四類についての基礎、火災予防、法令など学ぶと同時に乙4類危険物取扱者資格取得を目指す。		
授業計画	①物理学と化学の基礎知識 ②危険物の性質並びのその火災予防 ③危険物に対する法令 (消防法、危険物の規制に関する政令、規則など)		
テキスト	乙4類 危険物取扱者教本及び教員の作成したプリント		
試験／成績 評価方法	①学期末の定期試験 ②学科目ごとに100点満点とし、60点以上を合格とする。 ③出席率 ④授業態度 ⑤追試や指定期日までのレポート作成により単位の回復を認める。		
その他	出席率70%以上		

開講年度	2024		
開講学期	前期		
科目名	就職対策		
必修選択	必修		
授業時数	168	授業方法	演習・講義
対象学年	エアポート学科 1学年・2学年		
到達目標	就職活動の準備から実践までのステップを考え、自身の適性など重視し計画的に就職活動を進める。また、内定後には社会人として必要となるマナーやコミュニケーションスキルの習得を目指す。		
授業計画	①就職活動における教員との面談。 ②エントリーシート、履歴書の書き方。 ③面接試験対応など。 ④職場での基本行動。 ⑤社会人としての心構え ⑥社会人としての基本マナー ⑦社会人に必要とされるコミュニケーションスキル ⑧航空業界における各自の役割と使命のコミットメント		
テキスト	就職活動実践ワークブック及び教員の作成したプリント		
試験／成績 評価方法	①出席率 ②授業態度 ③指定期日までのレポート作成により単位の回復を認める。		
その他	出席率70%以上		

開講年度	2024		
開講学期	前期		
科目名	クラスワーク		
必修選択	必修		
授業時数	84	授業方法	演習・講義
対象学年	エアポート学科 1学年・2学年		
到達目標	就職活動を目標に必要な知識や能力を補助的に学習する。		
授業計画	①就職活動における教員との面談。 ②キャリアサポート課による就職ガイダンス ③学校による各種書類作成や手続き方法		
テキスト	なし		
試験／成績 評価方法	①出席率 ②授業態度		
その他	出席率70%以上		

開講年度	2024		
開講学期	前期		
科目名	ビジネス検定対策		
必修選択	必修		
授業時数	56	授業方法	演習・講義
対象学年	エアポート学科1学年		
到達目標	職業人としての倫理観の育成及び、キャリアビジョンの能力向上を目指す。 (資格取得目標:1学年3級、2学年2級)		
授業計画	①ビジネスとコミュニケーションの基本 ②仕事の実践とビジネスツール ③「社会で活用」するために必要は知識など		
テキスト	ビジネス能力検定ジョブパス公式テキスト及び教員の作成したプリント		
試験／成績 評価方法	①学期末の定期試験 ②学科目ごとに100点満点とし、60点以上を合格とする。 ③出席率 ④授業態度 ⑤追試や指定期日までのレポート作成により単位の回復を認める。		
その他	出席率70%以上		

開講年度	2024		
開講学期	前期		
科目名	一般常識 ・ SPI		
必修選択	必修		
授業時数	112	授業方法	演習・講義
対象学年	エアポート学科 1学年・2学年		
到達目標	企業の組織人としてパフォーマンスを発揮できる人材育成を目指し、良き社会人としての基礎知識など習得する。 企業の採用試験対策		
授業計画	①一般常識 国語、数学、社会、理科 ②SPI 非言語問題 ③SPI 言語問題 ④SPI3対策		
テキスト	一般常識、SPI、SPI3テキスト及び教員の作成したプリント		
試験／成績 評価方法	①学期末の定期試験 ②学科目ごとに100点満点とし、60点以上を合格とする。 ③出席率 ④授業態度 ⑤追試や指定期日までのレポート作成により単位の回復を認める。		
その他	出席率70%以上		

開講年度	2024		
開講学期	前期		
科目名	第二外国語（中国語）		
必修選択	必修		
授業時数	56	授業方法	演習・講義
対象学年	エアポート学科2学年		
到達目標	挨拶、自己紹介など日常会話から、コミュニケーション能力のスキルアップを図る。		
授業計画	①中国語の特徴 ②数字を使用した表現方法と応用など ③慣用句を使った表現方法		
テキスト	中国語教本及び教員の作成したプリント		
試験／成績 評価方法	①学期末の定期試験 ②学科目ごとに100点満点とし、60点以上を合格とする。 ③出席率 ④授業態度 ⑤追試や指定期日までのレポート作成により単位の回復を認める。		
その他	出席率70%以上		

開講年度	2024		
開講学期	前期		
科目名	英会話		
必修選択	必修		
授業時数	56	授業方法	演習・講義
対象学年	エアポート学科1学年		
到達目標	<p>基本的な英語の語彙と文法構造を学び、英語でのコミュニケーションが図れる。 英語でのスピーキングの戦略を練り、最終的には、重要な読解力と思考のスキルを磨き、議論し、意見を述べることを目指す。</p>		
授業計画	<p>1年次:(レベル別に授業を実施) ①自己紹介 ②場面に応じた表現(要求・同意・拒否) ③語彙 ④発音矯正(言語音) ⑤文法</p>		
テキスト	<p>(レベルに応じて選定) ・Passport ・Side by Side</p>		
試験／成績 評価方法	<p>成績は、①出席率 ②小テスト・課題・授業中の積極的な発言 ③期末試験(英語面接)により評価する。 合計点が6割に満たない場合は不合格とする。 再試や指定期日までの課題提出により単位の回復を認める。</p>		
その他	出席率70%以上		

開講年度	2024		
開講学期	前期		
科目名	英語		
必修選択	必修		
授業時数	280	授業方法	演習・講義
対象学年	エアポート学科1学年・2学年		
到達目標	<p>基礎的な文法や英語特有の文章構成を十分理解し、問題に慣れていくことを目的とする。</p> <p>読解、聴解のコツを活用し、短時間で問題に対応できることを目指し、合格及びスコアUPにつなげる。</p> <p>中級語彙およびレベルに適した文法力を適用し、自分の意見を客観的に論理的に伝えるスキルを身につける。</p>		
授業計画	<p>1年次:(レベル別に授業を実施)</p> <p>①各級に分かれた英検対策。</p> <p>②TOEIC及びTOEIC Bridge対策。</p> <p>③読解力・思考力育成。</p> <p>2年次:(レベル別に授業を実施)</p> <p>①各級に分かれた英検対策。</p> <p>②TOEIC及びTOEIC Bridge対策。</p> <p>③英語読解スキルを育成。論理的・客観的英文表現。</p> <p>④思考力育成。</p>		
テキスト	<p>1年次:(レベルに応じて選定)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公式 TOEIC Listening & Reading 問題集 ・21st Century Reading 1 ・TOEIC Bridge® 公式ワークブック ・旅英語の心得 Enjoy your trip! ・英検過去問題集 ・自立学習新演習英語 Book 3 <p>2年次:(レベルに応じて選定)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公式 TOEIC Listening & Reading 問題集 ・21st Century Reading 1 ・TOEIC Bridge® 公式ワークブック ・英検をひとつひとつわかりやすく ・TAGAKI ・Passport 1 		
試験／成績評価方法	成績は、①出席率②小テスト・課題③期末試験(筆記)により評価する。合計点が6割に満たない場合は不合格とする。		
その他	出席率70%以上		

開講年度	2024		
開講学期	前期		
科目名	課外授業		
必修選択	必修		
授業時数	98	授業方法	演習・講義
対象学年	エアポート学科 1学年・2学年		
到達目標	学校、社会のルールを認識し、協調性・自主性・連帯意識を養うなど 普段の授業で得にくいものを得る また、机上で学習した内容を校外で演習したり、現場を見学することで 業界へのイメージをリアルなものに繋げ、知識・見識を広げる		
授業計画	○オリエンテーション、球技大会、学園祭等学生として参加が求められている 各種学校行事 ○空港見学、各種企業説明会・セミナー		
テキスト	各行事資料		
試験／成績 評価方法	①出席率 ②受講態度 ③レポート		
その他	出席率70%以上		